

平成22年5月14日

平成22年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査 (第2回 5月上旬分)

香川県水産試験場 環境資源部門(山本)
TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

○カタクチイワシ卵の出現状況

卵が出現し、平均値(34.8個/曳網)および前年値と比べて非常に多かった。

前年	平成21年5月7日	(6点の平均)	148.3 個
前回	平成22年4月19日	(17点の平均)	0.0 個
今回	平成22年5月6日	(7点の平均)	231.8 個

○カタクチイワシ稚仔魚の出現状況

稚仔魚が出現し、平均値(5.2尾/曳網)および前年値と比べて非常に多かった。

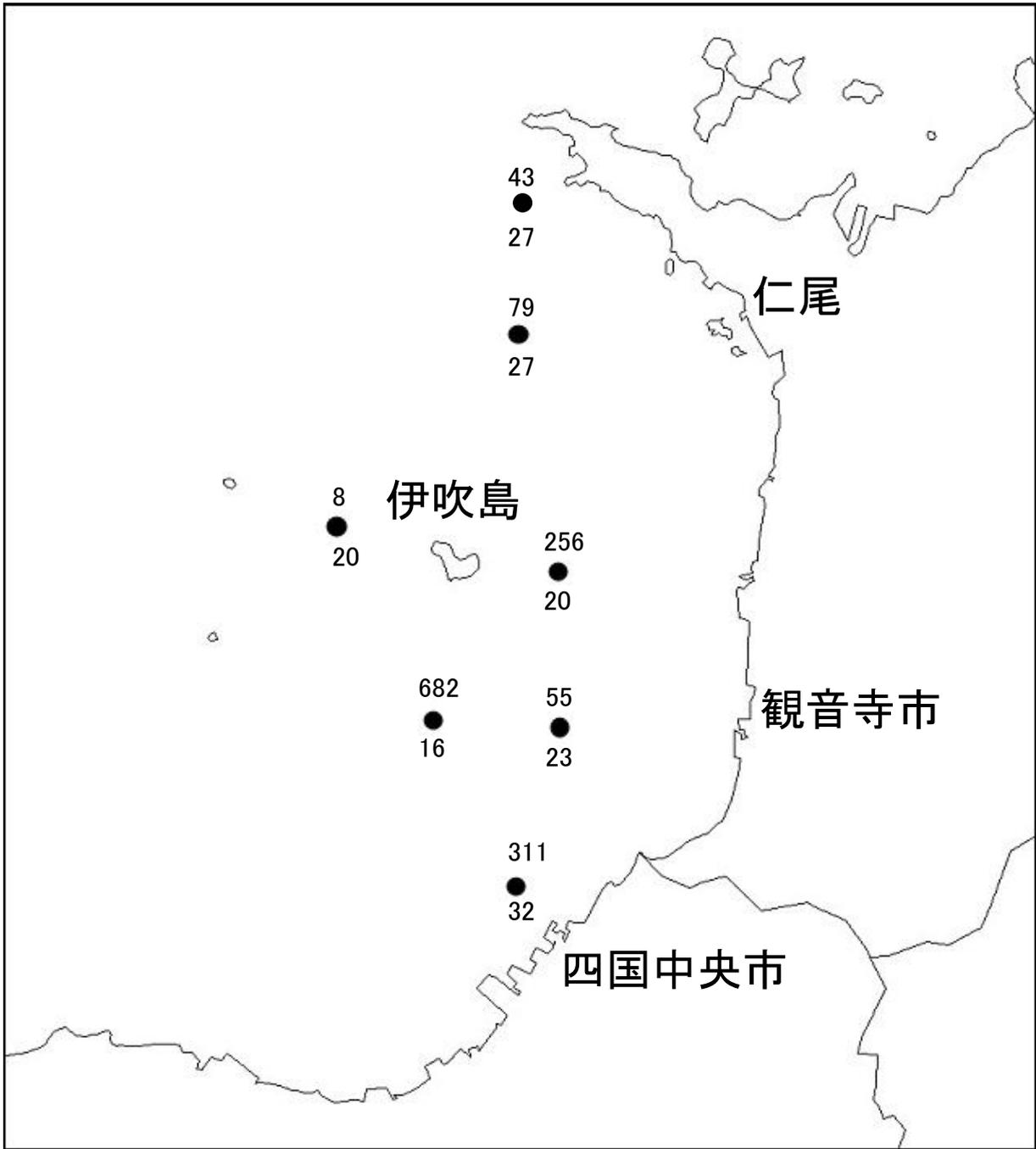
前年	平成21年5月7日	(6点の平均)	12.8 尾
前回	平成22年4月19日	(17点の平均)	0.0 尾
今回	平成22年5月6日	(7点の平均)	23.0 尾

○プランクトン調査

全体的にプランクトン量が少なかった。優占種は、ノクチルカ(夜光虫)であった。カイアシ類(カタクチイワシの重要な餌)は伊吹島の西と仁尾の沖で比較的多かった。

次回の調査は5月19(水)に実施予定

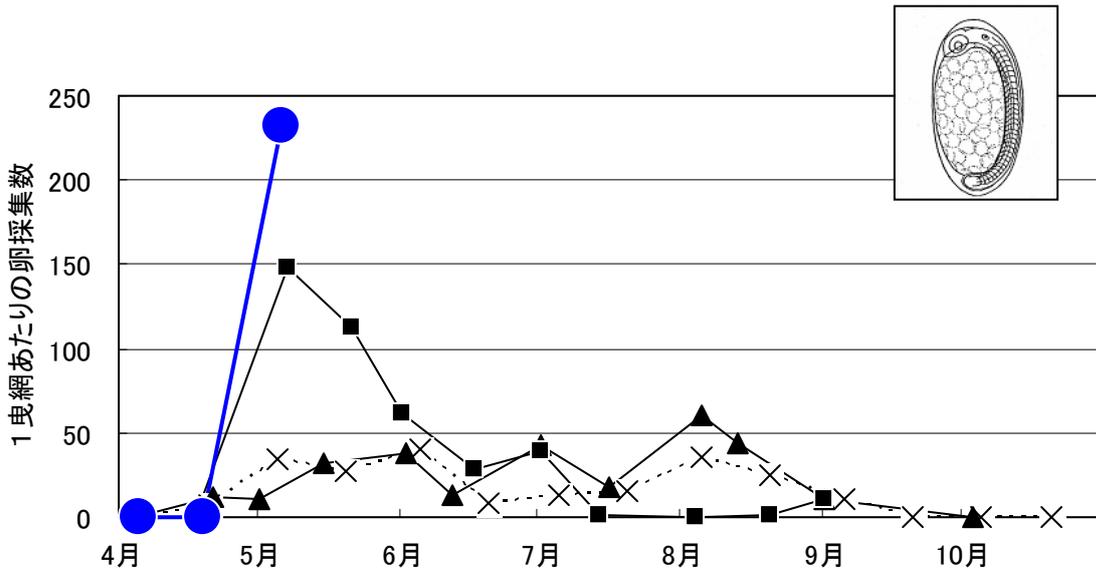
カタクチイワシ卵稚仔採集状況(5.6)



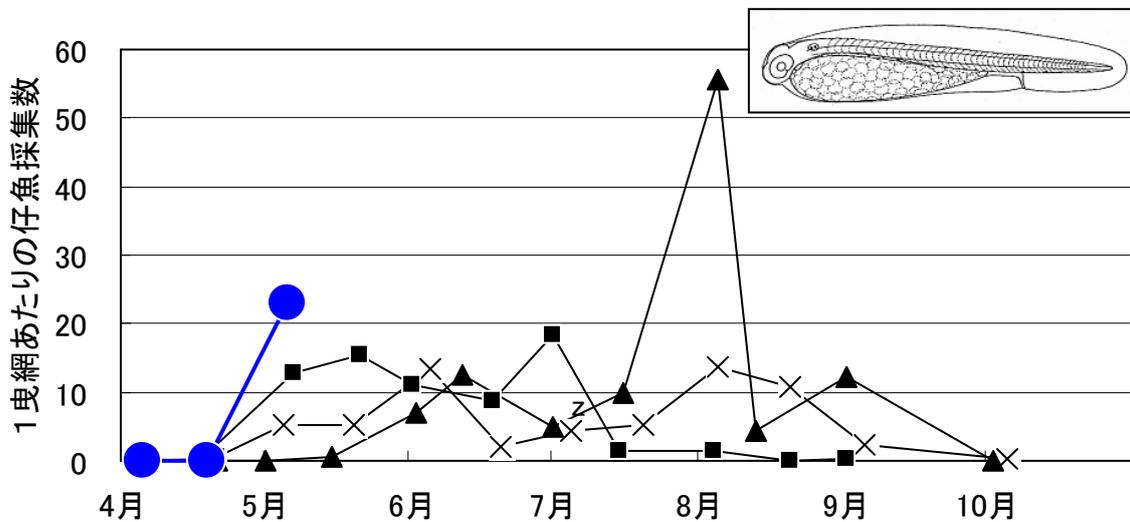
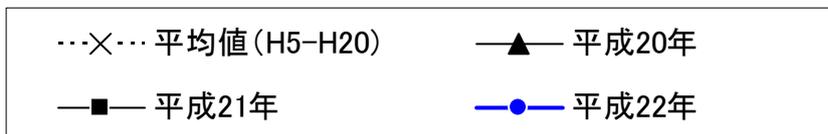
凡例

●の上側がカタクチイワシ卵数,
下側がカタクチイワシ稚仔魚を
示す。いずれも1曳網当たりの数

21 ← 卵数
●
5 ← 稚仔数



燧灘におけるカタクチイワシの卵出現状況



燧灘におけるカタクチイワシの仔魚出現状況

